

事業所における自己評価(公表)

児童発達支援

公表:令和4年5月

事業所名 乳幼児親子教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○			小さな部屋のクラスでは動きの大きな子にとってはゆとりのあるスペースがあると良い点もあるかと思います。
	② 職員の配置数は適切である。	○		子ども一人ひとりに合わせるのは難しいが心地よくあそべるよう配慮している。	与えられた空間の中で安全にすごせるよう意見を出し合っているが厳しい面もある。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	○		必要に応じて付き添って安全に配慮している。	建物の構造上の問題で歩けない子等は抱っこで行かなければいけないので足元が見えにくくなってしまふ。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		できる限りの清潔を心がけています。	感染症対策も含めその都度話し合い工夫をしています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		各クラスでの毎日の反省会や、職員会議が行われています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		毎年度実施し、フィードバックがされています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		ホームページに掲載されています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	○		一事業所ごとに毎年度実施し、フィードバックされています。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		コロナ禍で難しい所もありますが機会をつくり工夫していると思います。	外部研修はオンラインでの参加をしています。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		面談を元にサービス担当者会議を開き作成しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		更なる共有ができる工夫を考えたい。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		個人面談の内容を踏まえ、設定されています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		クラス内での共有や振り返りも行っています。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○	職員間で相談しながら、月案を立て振り返りを行っています。子どもの特性に応じて立案し、話し合いを行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○	変える時も固定する時もそのようにする理由を話し合い行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○	言語聴覚士や臨床心理士の指導を受け作成に繋がっています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○	支援開始前に前日の記録や、連絡ボードで確認している。リーダーやサブリーダー等の役割を決めて行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○	毎日、反省会の中で共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○	個人の記録ノートに記し共有しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○	半年に一度面談を通して目標設定の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○	参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○	担当者やリーダーの職員が参加しています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。		他機関を含めたサービス担当者会議を行い連携をとっています。必要に応じて電話対応もしています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。		保護者を通じ、行っています。了承を得たうえで職員が同行したり情報共有をする事もあります。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○	児童の記録(申し送り書)を作成し、情報の共有を図っています。コロナ禍以前は見学も行われていました。	コロナ禍で見学できなかったがTELなどで対応すればよかった
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○	申し送り書の作成や、問い合わせに対して回答しています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○	コロナ以前はありましたが現在は中止しています。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	○		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○	送迎時に信頼関係が構築できるようにしているが、時間の制約上難しい場合は連絡ノートを通じて伝え共通理解に繋がっている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	○	ペアレントトレーニングについては既知ではあるが、一つの方法だけに偏らないようにしながら多角的な支援が行えるように対応している。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	<input type="radio"/>	保護者会で説明をしています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	<input type="radio"/>	行っています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	<input type="radio"/>	定期的な面談の他、連絡帳、送迎時にお話しをしています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	<input type="radio"/>	オンラインでの開催を含め感染症対策をしながら行ないました。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	<input type="radio"/>		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	<input type="radio"/>	毎月発行し、変更があった場合各教室に掲示及び保護者に説明を行う。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している。	<input type="radio"/>	掲示物やニュース発行時、動画配信などの保護者への説明をし、承諾を頂いています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	<input type="radio"/>		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	<input type="radio"/>	コロナ以前はおやこまつりを行っていました。今後は状況を鑑みて検討していきます。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	<input type="radio"/>	学期末の合同職員会議で策定されたマニュアルを確認し、訓練を実施しています。保護者へは契約時の重要事項説明書にて説明しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	<input type="radio"/>	避難訓練は月毎に行ってその都度改善をしています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	<input type="radio"/>	子どもの体調やコンディションに変化があった時には事前に周知され共有される状況にあります。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	<input type="radio"/>	保護者がアレルギーの有無をフェイスシートに記入しています。所定の位置にアレルギー対応表を貼り、食事提供の際に個別対応のトレーを使用しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	<input type="radio"/>	反省会で事例を出し、用紙に記入しています。ヒヤリハットから事故が起きた場合の対応について事前に考える事ができると思います。	細かい事柄も記入できると良いと思います。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	<input type="radio"/>	定期的に研修会が行われ、長期休み前に全職員で確認しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達計画に記載している。	<input type="radio"/>	定期的に研修会が行われ、長期休み前に全職員で確認しています。	